

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	三橋 勝則	電話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	----	----------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3536	事務事業名称	適応支援センター運営事業				短縮コード	経常	3536	臨時	3617	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条、八千代市適応支援センターの設置及び管理に関する条例、八千代市適応支援センターの設置及び管理に関する条例施行規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
不登校児童生徒は年々増えており、その解消に向けて平成9年度より児童生徒の自立と学校復帰を目指した適応支援センターを開所し、援助活動を開始した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	02	人間尊重都市をめざして					
市内の不登校児童生徒数は平成8年度をピークに一時減少したが、再び微増の状態である。不登校問題に関する調査研究協力者会議による報告「今後の不登校への対応のあり方について」参照					大項目(節)	01	学校教育					
					中項目	02	義務教育					
					小項目(施策)	02	教育内容の充実					
					細項目	01	学習・生徒指導の充実					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	不登校児童生徒及び保護者						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: ①学習の補習、相談を適応支援センターで実施。 ②教育相談を平日9:00から17:00に実施。 ③カウンセラーを週1回センターに滞在させ、カウンセリングを実施。 ④引きこもりがちな児童生徒の自宅に相談員を派遣する。 ※平成19年度に計画していること: 平成18年度と同様						
意図 (何を狙っているのか)	①登校意欲を喚起し、学校への復帰を図る。 ②情緒の安定を図る。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	悩みの解消を図る。						
区分	指標	内容	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	不登校児童生徒の数	人	215	170	210	200
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	通所児童・生徒の数	人	19	28	33	6
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	学校復帰者数/通所児童生徒数	%	73.6	70	36.6	40
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3536	事務事業名称	適応支援センター運営事業		所属名	指導課
	単位	17年度		18年度		19年度
		実績		計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0
		県	千円	1,130	960	960
		地方債	千円	0	0	0
		一般財源	千円	1,302	1,376	1,333
		その他	千円	0	0	0
主な事業費の内訳		賃金、消耗品、報償費	賃金、消耗品、報償費	賃金、消耗品、報償費	賃金、消耗品、報償費	賃金、消耗品、報償費
人件費(B)		千円	15,529.1	14,956.6	14,081.7	14,081.7
トータルコスト(A)+(B)		千円	17,961.1	17,292.6	16,374.7	16,442.7

### 3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	上位の施策「学習生徒指導の充実」を推進するために、適応支援センター運営事業を実施しており、結びついている。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	市内の不登校児童生徒については、毎年、あるいは年度途中で入れ替わることもあり、常時中期目的を意識した取り組みが必要であるとする。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	不登校児童生徒に対応する場所として、民営のものもあるが、行政として公的な機関を設置する義務もあるとする。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	初期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用 <input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し <input type="checkbox"/> 上記以外の方法	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
			2		実施主体(所管部署)	
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	学校、家庭、適応支援センターの連携方法の検討が必要。			

コード	3536	事務事業名称	適応支援センター運営事業			所属名	指導課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			不登校児童生徒の施設への通所による学校復帰への支援のほか、スクールカウンセラーによる児童生徒とその保護者、学校職員へのカウンセリングによる支援、また、通所する事が難しい児童生徒に対して、職員が家庭を訪問する訪問相談による支援も行っていく。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	充実した教育環境づくりのため
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>今まで学校に行くことができず、居場所がなかったが居場所を見つけることができた。 学校に復帰することができて安心した。 友達ができ明るく前向きになれた。 自分が好きになった。 引きこもりがちだったが外出できて安心した。 等の声がある。 親の会の設立を望む声がある。</p>	

所属長コメント	不登校児童生徒が学校へ復帰するための準備段階に対応するための施設として大きな役割を果たしている。	
評価調整委員会意見	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	経費の増加については事業の有効性と合わせて十分検討し実施すべき。